

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年2月13日
野村不動産株式会社

～コージェネレーションシステムの採用等により、高いBCP性能を実現～ 国内最大級の基準階床面積「横浜野村ビル」竣工

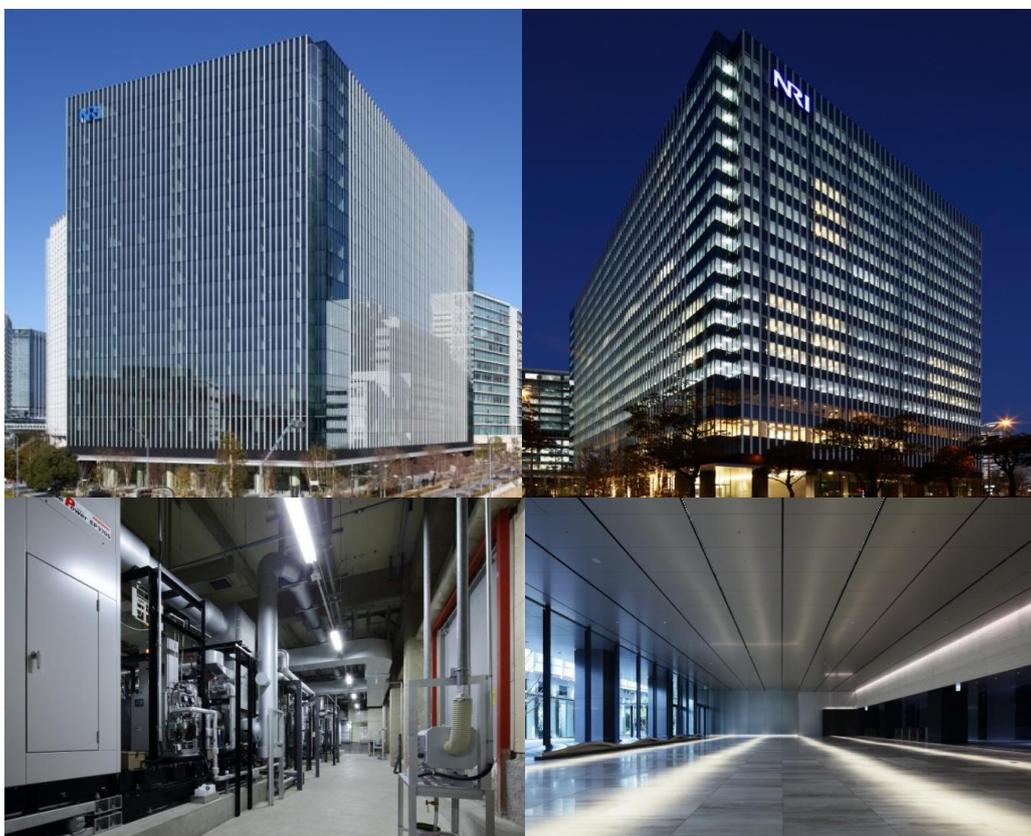
野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：宮嶋 誠一）は、横浜市西区みなとみらい21地区にて建設を進めてまいりました大規模オフィスビル「横浜野村ビル」が1月31日に竣工を迎え、本日2月13日に竣工式を執り行いました。

本プロジェクトは、基準階面積1,200坪(約4,000平米)を超える国内最大級のオフィスビルです。免震構造、中圧ガスを利用したコージェネレーションシステム、デュアル燃料式非常用発電機等を採用した高いBCP性能に加え、環境負荷の低い機器の導入、80本を超える高木や壁面緑化などの植栽により、LEED CS GOLD(※取得予定)、CASBEE S ランク、SEGESなどの各認証を受けるなど、東日本大震災以降益々求められている企業の事業継続計画や環境負荷低減に対応したビルとしております。

オフィスフロアには株式会社野村総合研究所が入居を予定しており、今夏オープン予定の1階店舗については、当社グループの「メガロスフレ みなとみらい (仮称)」(野村不動産ライフ&スポーツ株式会社)をはじめ、8つの魅力的な商業店舗を揃え、みなとみらい地区の価値向上に寄与します。

野村不動産では、このような実績を踏まえ、今後都心部で予定している大型複合開発に当社グループの開発・運営などの総合力で対応し、街・エリアの価値向上に取り組んでまいります。

<横浜野村ビル 竣工写真>



【左上】外観（南西側より） 【右上】外観（夜景・北西側より） 【左下】17階 コジェネ機械室 【右下】エントランスホール

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

<事業概要>

- 国内最大級となる基準階貸室面積約 1,200 坪を確保し、効率の良いオフィス空間を確保
- 中間免震構造、中圧ガスを利用したデュアル燃料式非常用発電機(※1)とコージェネレーションシステム(※2)を採用し、BCP性能を強化
- みなとみらいエリアの街並みに配慮した縦基調の外観デザインを構成する自然換気フィンを採用し、外気を直接取り入れ可能とする事で、中間期の空調負荷の低減や停電時の事業継続に配慮した設計
- 環境性能(コージェネレーションシステム・雨水利用システム等)を強化し、各種認証(LEED CS GOLD 認証取得予定、CASBEE S ランク取得済、SEGES 認証取得済)を取得

※1 デュアル燃料式非常用発電機：中圧ガスとオイルによる発電が可能な発電機。通常の発電機に比べ、災害時の信頼性が高い。

※2 コージェネレーションシステム：ガス発電時に発生した廃熱をビル内の空調熱源に活用するシステム。省エネルギー効率に優れ停電時でも一部空調機能が稼働。

<物件概要>

| | |
|-------|--|
| 所在地 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番1(住居表示) |
| 交通 | みなとみらい線「新高島」駅徒歩4分、「みなとみらい」駅徒歩6分、JR線他「横浜」駅徒歩11分 |
| 敷地面積 | 8,962.40㎡(2,711.13坪) |
| 延床面積 | 81,546.99㎡(24,667.85坪) |
| 構造・規模 | 鉄骨造(免震構造)、地上17階 |
| 駐車台数 | 264台 |
| 着工 | 平成27年3月2日 |
| 竣工 | 平成29年1月31日 |
| 設計監理 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 |
| 施工 | 清水建設株式会社 |

<地図>



あしたを、つなぐ